

第 27 回理事会報告

(財)おかやま環境ネットワーク

日時：2005年12月10日(土) 15:00~17:15

出席：理事会 = 14名(内委任4) 監事：1名 議長：青山、議事録署名人：藤原・安場

〔報告・承認事項〕

1. 05年11月末の会費納入状況・決算報告があった。

会員数は248名(個人86、団体36、法人126)で、前年同期よりも1会員多いが、04年度末よりも15会員少ない。この間、郵送で3回案内しているの、主だったところには、電話連絡をして会費納入を依頼することとした。11月までの収支は66万円の黒字となっている。収入が予算に到達していないが、支出が予算を下回っているの、収支差額は136万円予算を超えている。

2. 事業や部会活動などの報告があった。

第3回ホタルフォーラムが開催された。参加者は127名で、参加者数・内容ともに年々前進している。

第3回環境シンポジウムが開催された。参加者は103名であった。様々な立場の方が一堂に会して意見交換をしたことについて評価する声が多かった。環境シンポジウム実行委員会でふりかえり・今後の取り組みについて論議をし、2月理事会に報告をする。また、中国四国農政局から後援が得られなかった経緯が報告された。

第3回テーマ別講座が開催された。参加者は13名と少なかったが、内容的には充実した講座であった。環境家計簿運動P Jが開催され、2006年版のエコライフカレンダーの作成などをすすめている。次年度の環境家計簿新規登録者は58名となっている。

調査研究打ち合わせ会が開催された。5グループに分かれて検討しているが、産業グループは作業が進んでいない。12月10日に中間報告会が開催され、年度末に向けてどのようにまとめるかの検討をすすめている。

総合政策検討会が開催され、県が構想している「循環型環境情報・学習プラザ講座」や部会運営などについて意見交換が行われた。

おかやま環境ネットワークも委員として加わっている、「災害に強い森林づくりを進める岡山の会」が発足し、11月20日に植樹などの行事を行った。

2006年度の助成金申請受付が終了し、22団体から366万円の助成申請があった。助成検討会で第1次審査をした上で、2月理事会で決定をする。

部会代表者会議が開催され、この間の部会活動の交流や今後の部会運営などについて論議を行った。今後の部会運営については、代表者会議での論議を元に各部会で意見交換をし、次回の代表者会議でとりまとめを行い、2月の理事会に諮る予定である。

岡山県主催の「エコフェスタおかやま2005」、岡山市主催の「パートナーシップ交流会」に展示出展をした。

岡山県による公益法人検査が行われた。指導事項はなかった。

公益法人の会計基準が見直され2006年度から適用となる。おかやま環境ネットワークは、収支計算書の一部を変更する必要があるだけで、大きな影響はない。

2004年12月の閣議決定を受けて、公益法人改革の準備が進められている。「公益性を有する法人」に認定されることが重要で、そのために戦略を持って対応する必要があることが指摘された。

〔協議・決定事項〕

1. 県が構想している「循環型情報・学習プラザ(仮称)」について報告があり、意見交換を行った。おかやま環境ネットワークの自主性・主体性の確保の重要性やプラザ事業の将来的な収益見込みへの危惧などの声が出された。まずは、県が呼びかけている意見交換会に参加をし、あらためて理事会で今後の対応を検討することとなった。

2. 2006年4月の理事会・評議員会で次期役員の改選を行う。2月の理事会で定数などを確定するが、それまでに事務局が個々の役員の意向を打診することとなった。また、日名理事より理事退任の意思が示され確認された。

3. 2006年度の理事会・維持会員総会の日程が確認された。